

## 4-2. 地域住民アンケート調査

### 1) 調査方法等

#### (1) 調査の目的と対象

- ・目的：日常における公共交通の利用実態と、公共交通の改善策を把握する。
- ・対象：山北地区全世帯を対象。  
世帯主、同居する65歳以上の方、65歳未満の方に調査票にて回答。

#### (2) 調査方法

- ・配布：市報の配布方法を通じ総代から各世帯へ配布
- ・回収：市報配布前までに各世帯が総代へ提出、まとめたものを総代が支所へ持ち込む。

#### (3) 配布期間

- ・発送：平成21年10月15日（木）
- ・締切り：平成21年10月30日（金）

#### (4) 配布物

- a 依頼文
- b 調査票（①：世帯主用、②65歳未満用、③65歳以上用）
- c 参考資料：「地域の公共交通を考える」（44p参照）
- d 返信用封筒

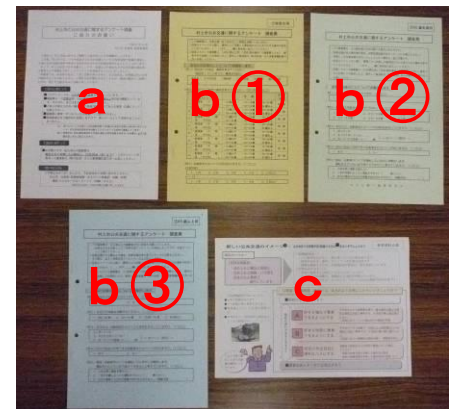


図4-5. 配布物一覧

#### (5) 質問構成、配布・回収数

質問構成及び回収率は以下のとおり。

表 4-4. 質問構成と回収率

	①世帯主用	②65歳未満用	③65歳以上用
質問構成	1. 自動車・バイクの保有状況 2. 家庭の送迎状況 3. 路線バス運行方法の工夫への賛同 4. クルマから公共交通への転換についての賛同 5. 公共交通での移動についての賛同 6. 運転する頻度	1. 運転継続の意志 2. 目的別外出頻度 3. 外出時における出発時間 4. 外出時における移動手段	1. 運転継続の意志 2. 目的別外出頻度 3. 外出時における出発時間 4. 外出時における移動手段 5. 路線バスの利用実態 6. 路線バスに対する要望
回収率	・配布数(A) …2,508通 ・回収数(B) …1,681通 ・回収率(B/A) …67.0%	・配布数(A) …2,508通 ・回収数(B) …1,372通 ・回収率(B/A) …54.7%	・配布数(A) …2,508通 ・回収数(B) …1,235通 ・回収率(B/A) …49.2%
運転免許	・持っている…79% ・持っていない…21%	・持っている…90% ・持っていない…10%	・持っている…52% ・持っていない…48%

## 2) 調査結果

### ①世帯主用アンケート結果概要

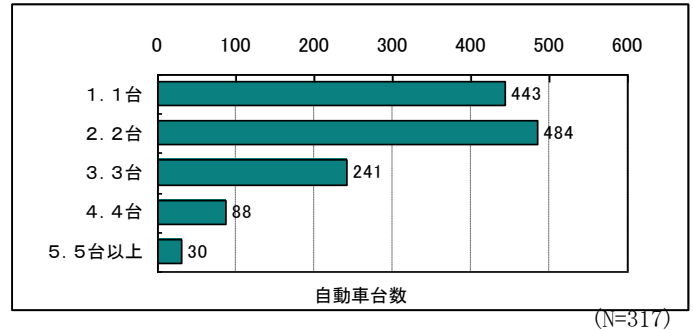
#### 1. 自動車・バイクの保有状況

『自動車またはバイクが何台ありますか。』(問3)

(N=1,286)

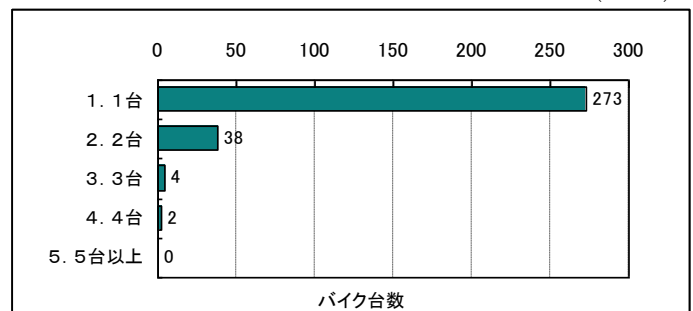
##### 【自動車】

- ・ 1家に2台所有している家が最も多い。
- ・ 全体の約4割が2台以上の車を保有している。



##### 【バイク】

- ・ 1家に1台所有している家が最も多い。



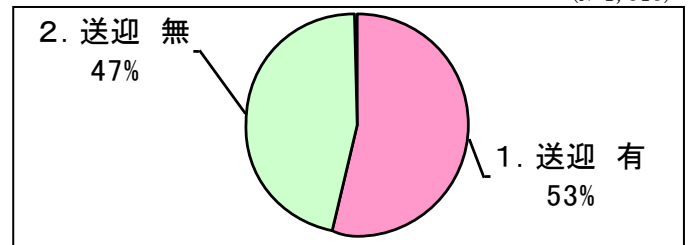
#### 2. 家庭の送迎状況

『家族の送迎状況をお聞きます』(問4)

(N=1,318)

##### 2-1. 送迎の有無

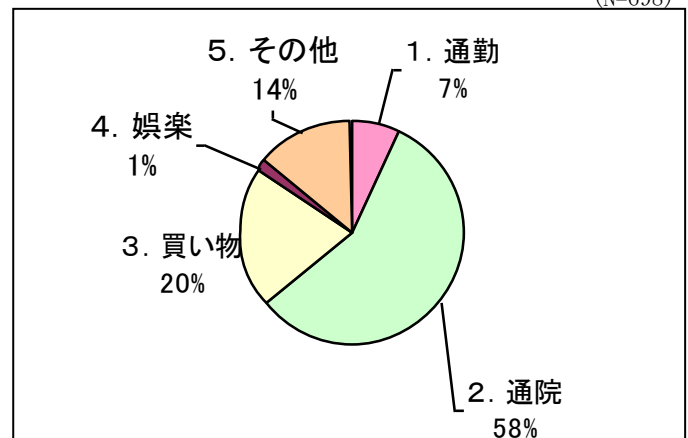
- ・ 半数以上の世帯で家族の送迎を行っている。



##### 2-2. 送迎の目的

- ・ 「通院目的の送迎」の割合が半数以上を占めている。
- ・ その他の意見には「通学」が含まれる。

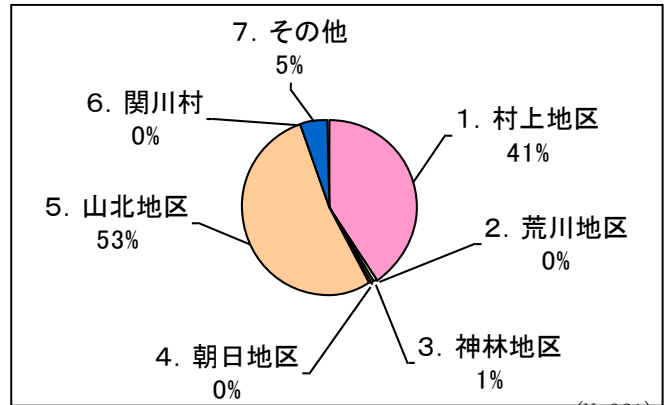
(N=698)



2-3. 主な送迎先（地区）

(N=700)

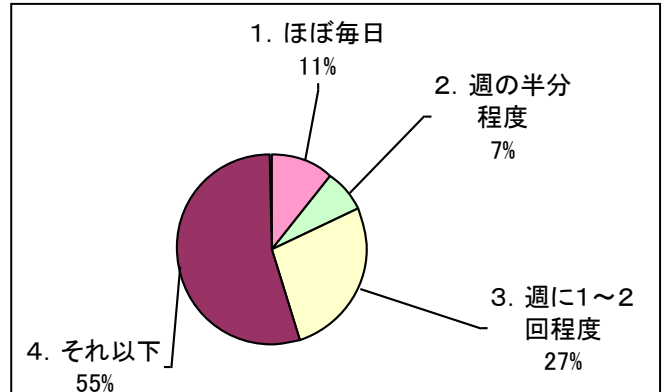
- ・約半数の送迎先が山北地区、次いで村上地区となっている。



(N=661)

2-4. 送迎の頻度

- ・最も多い回答は週1回以下。
- ・一方で、1割は毎日送迎を行っている。



3. 路線バスの運行方法の工夫への賛同

『路線バスにおいて、A (:好きな場所で乗車)、B (:好きな時間に乗車)、C (:特定の外出目的に便利なバス) のような運行方法の工夫をすることについてどう考えますか』 (問5)

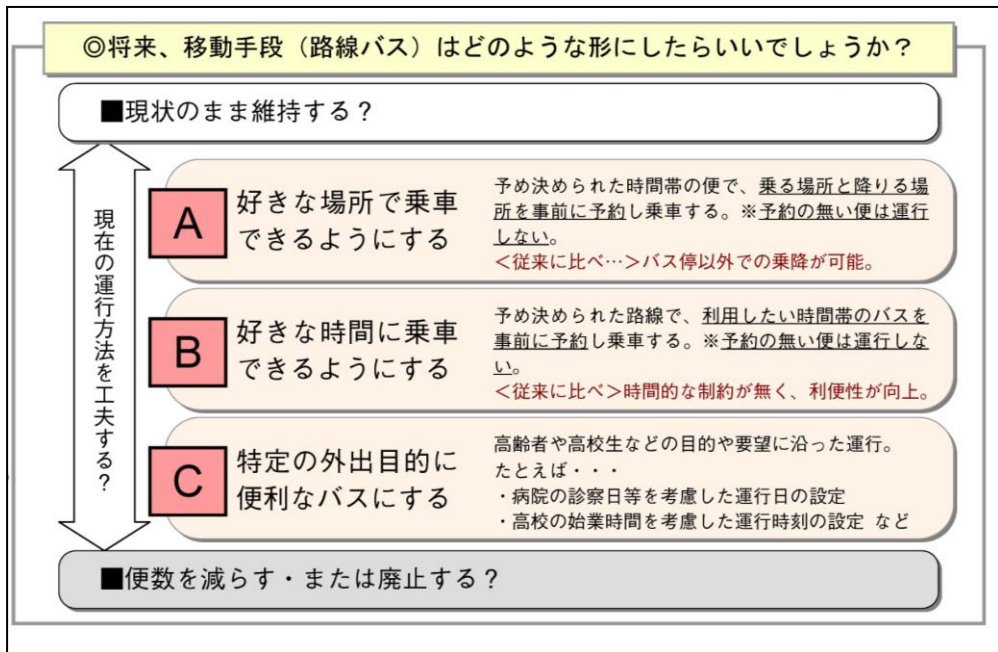
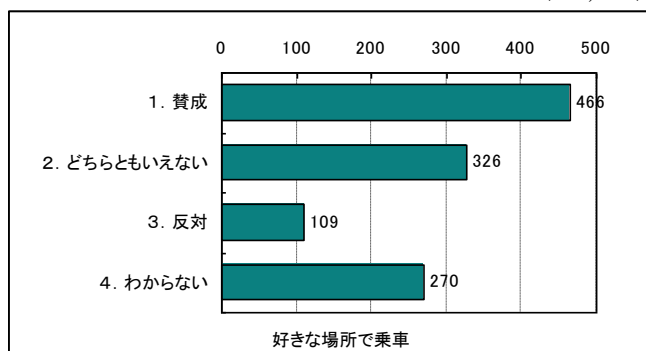


図4-6. 将来の路線バスの運行方法の工夫

(N=1,171)

【パターンA (好きな場所で乗車する方法)】

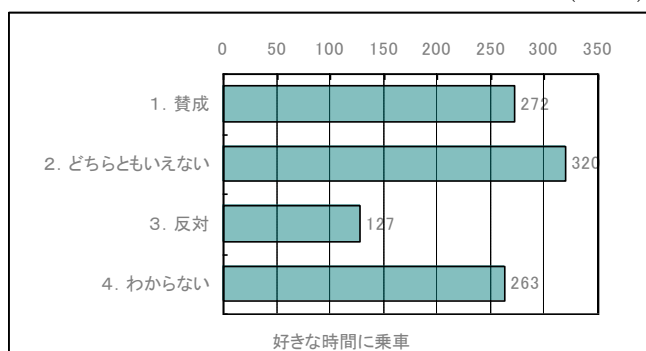
・約4割が賛成と回答した一方、約1割は反対との回答。



【パターンB (好きな時間に乗車する方法)】

(N=982)

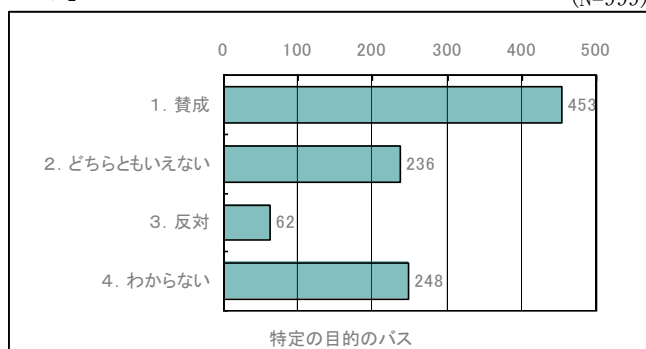
・約3割が賛成と回答した一方、約1割は反対との回答。



【パターンC (特定の目的のバスを運行すること)】

(N=999)

・約半数が賛成と回答。



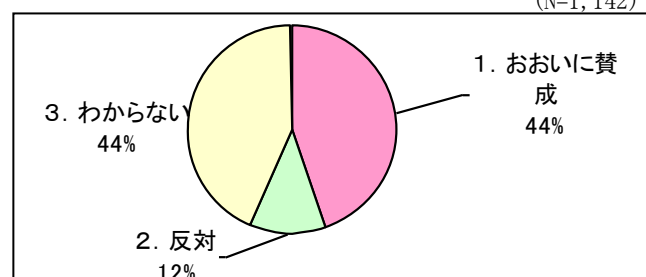
4. クルマから公共交通への転換することについての賛同

『資料で示した「できるだけクルマの利用を控える行動」について、あなたはどのように考えますか。』

(問6)

(N=1,142)

・約半数が「おおいに賛成」と回答。



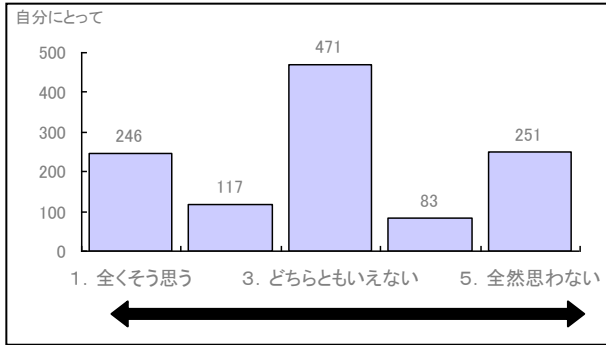
## 5. 公共交通で移動することの重要性認知度

『バスや電車による移動は、自家用車での移動よりもいいことだと思いますか。』（問7）

- ・自分及び家族にとっては、「どちらともいえない」と回答した人が最も多い。
- ・地域社会、環境にとっては、「全くそう思う」と回答した人が最も多い。

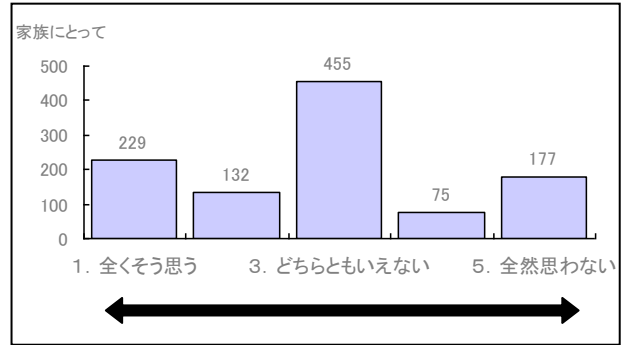
### 5-1. 自分にとっていいことか？

(N=1,168)



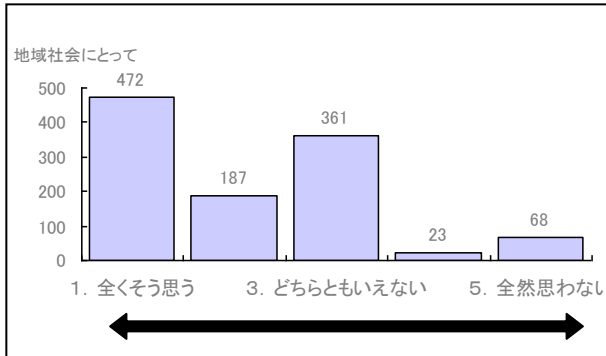
### 5-2. 家族にとっていいことか？

(N=1,068)



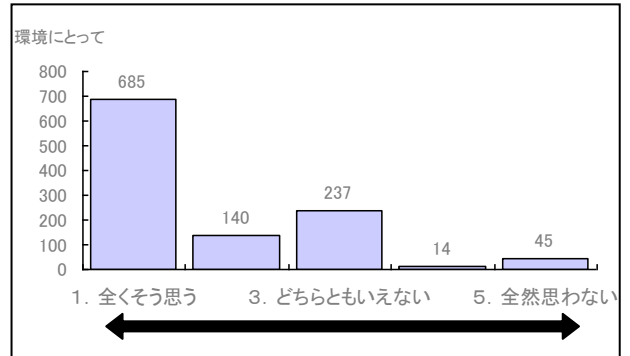
### 5-3. 地域社会にとっていいことか？

(N=1,111)



### 5-4. 環境にとっていいことか？

(N=1,121)

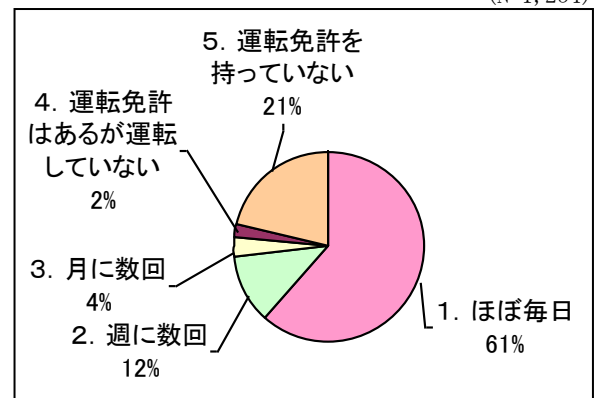


## 6. 運転する頻度

『普段の自動車を運転する頻度を教えてください。』（問11）

(N=1,254)

- ・ほぼ毎日運転している人が、約6割を占める。
- ・一方で、運転免許を持たない人は2割程度。



## ②65歳未満用 及び ③65歳以上用アンケート結果概要

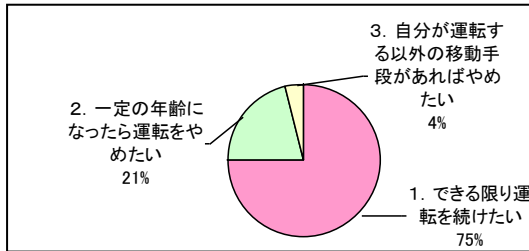
### 1. 運転継続の意志

『運転をどのくらいまで続けて行きたいと考えていますか』（問5）

- ・ 65歳未満、65歳以上ともに、約7割が「出来る限り運転を続けたい」と回答。
- ・ 一方、約3割はやめたいと回答。

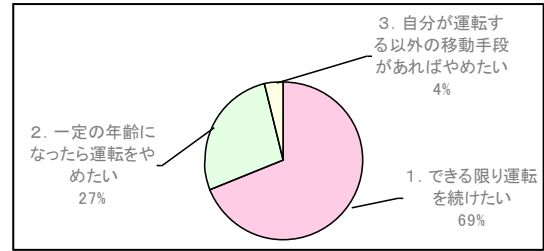
<65歳未満>

(N=898)



<65歳以上>

(N=568)



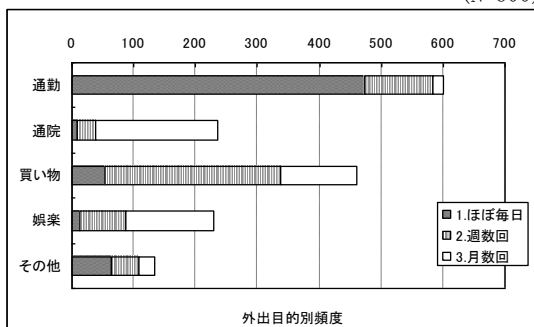
### 2. 目的別外出頻度

『各外出目的の頻度を教えて下さい。』（問6）

- ・ 65歳未満は、ほぼ毎日の通勤目的での外出割合が多い。
- ・ 65歳以上は、月数回の通院目的での外出割合が多い。
- ・ どちらの年齢でも、買物目的では週数回の出発割合となっている。

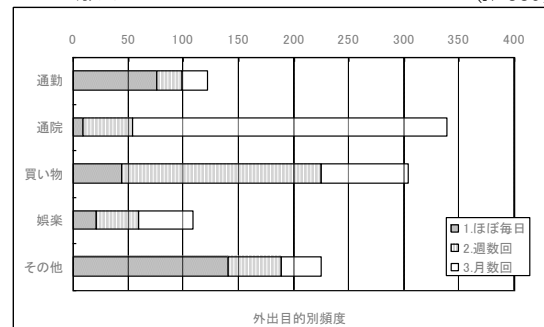
<65歳未満>

(N=600)



<65歳以上>

(N=339)



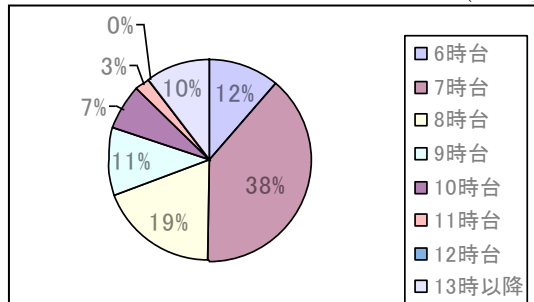
### 3. 外出時における出発時間

『最も多い外出目的での出発する時刻を教えてください』（問7 Q3）

- ・ 65歳未満は、7時台に出発する人の割合が最も多い。
- ・ 65歳以上は、9時台に出発する人の割合が最も多い。

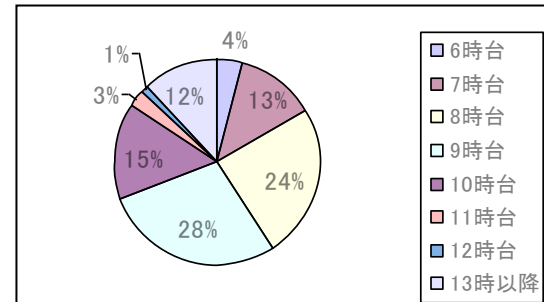
<65歳未満>

(N=497)



<65歳以上>

(N=445)



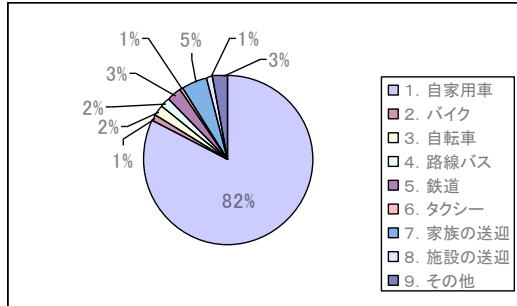
#### 4. 外出時における移動手段

『最も多い外出目的での移動手段を教えてください』(問7 Q4-1)

- ・65歳未満は、自家用車が最も多く、約8割を占める。
- ・65歳以上では自家用車が多いものの、約半数を占める。
- ・公共交通の利用割合は、65歳未満は6%、65歳以上では16%となっている。

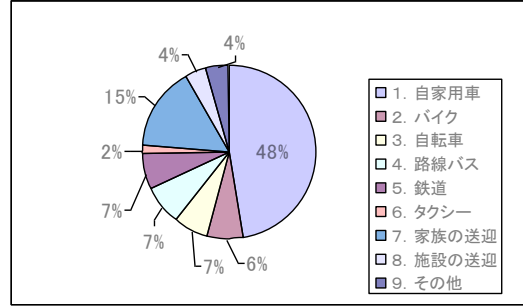
##### <65歳未満>

(N=939)



##### <65歳以上>

(N=956)

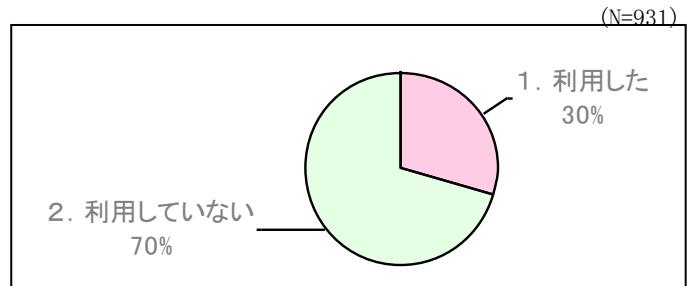


#### 5. 路線バスの利用実態 (③65歳以上用のみ)

『過去1年以内で、村上市内で1度でも利用したことがある移動手段と、その利用回数、所要時間、利用する理由を移動手段ごとにそれぞれお答えください。利用しない方は、その理由を教えてください。』(問8)

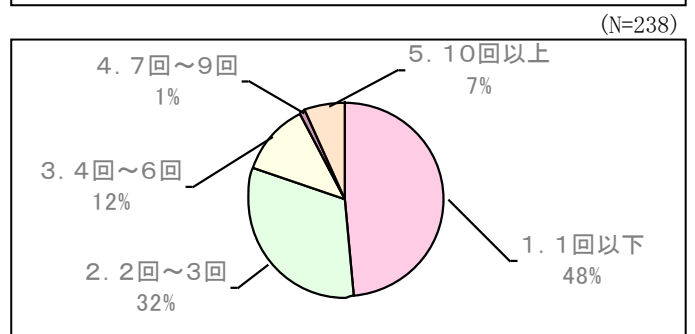
##### 5-1. 利用有無

- ・約3割の人が路線バスを利用している。



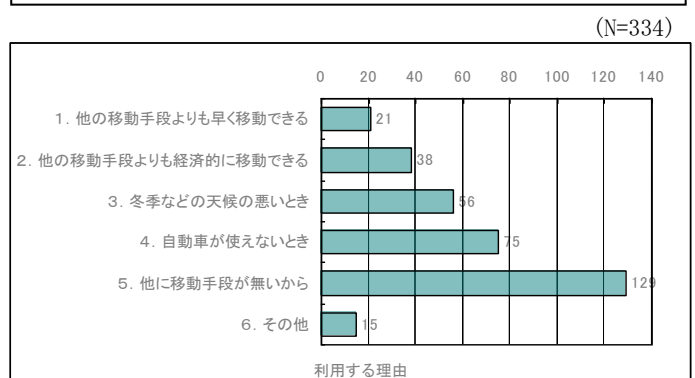
##### 5-2. 利用回数

- ・約半数の人が月に1回乗車。一方で、約1割の人が週に1回乗車している。



##### 5-3. 利用する理由 (※複数回答)

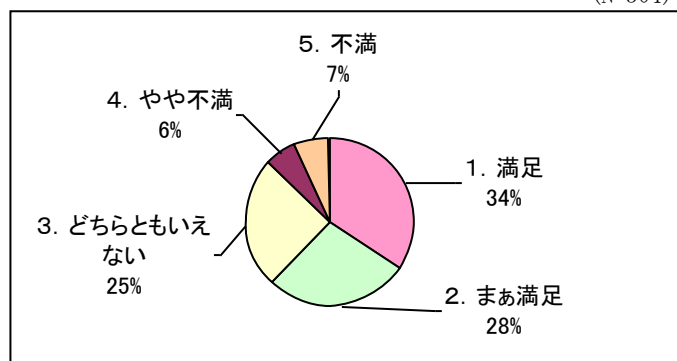
- ・『他に移動手段が無いから』と答えた人が最も多く、次いで『自動車が使えないとき』である。



(N=304)

### 5-4. 便利さ

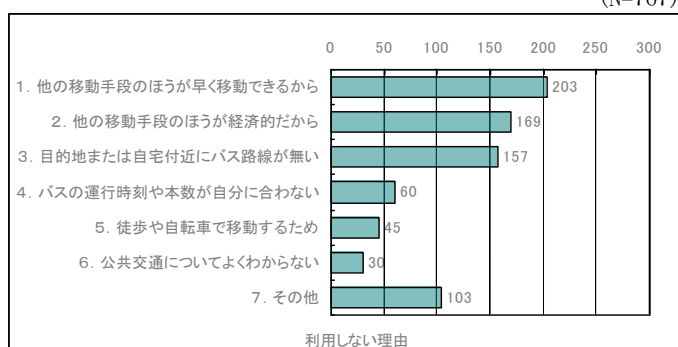
- 『満足』、『まあ満足』との回答を合わせると約6割である。



(N=767)

### 5-5. 利用しない理由(※複数回答)

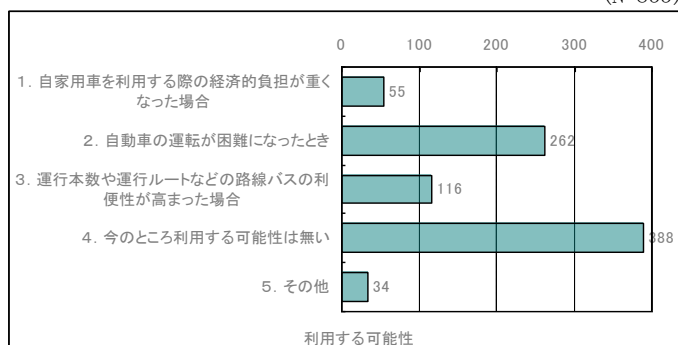
- 他の移動手段のほうが早く移動できるからとの回答が最も多く、次いで『他の移動手段のほうが経済的だから』である。



(N=855)

### 5-6. 利用する可能性(※複数回答)

- 『利用する可能性は無い』との回答が最も多い。
- 利用する理由として最も多いのは、『自動車の運転が困難になったとき』である。

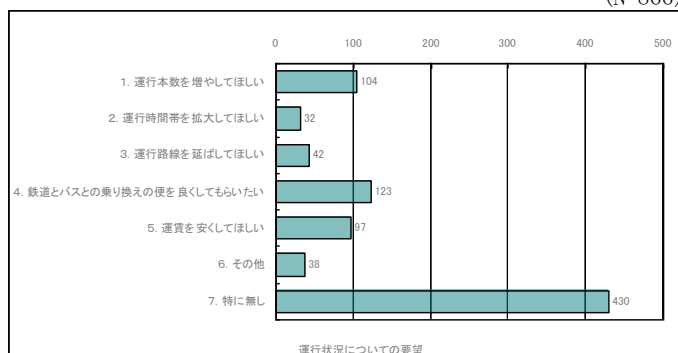


## 6. 路線バスに対する要望

『路線バスの運行状況について要望をお聞かせください。』(問9) (※複数回答)

(N=866)

- バス運行本数の増加に対する要望が最も高く、次いで、鉄道とバスとの乗換を便利にという要望の順。





『バスの車両形態やバスの停留所について要望をお聞かせください。』（問 10）（※複数回答）

(N=660)

- ・『床の低いバスの導入』と、『停留所への屋根・ベンチの設置』についての要望が高い。

